

水と土の芸術祭 2018

作品制作 ボランティア基本手引き

制作ボランティアに参加される方は、ご一読ください。

平成30年6月
水と土の芸術祭 2018実行委員会

目次

1	現場活動の手引き	1
2	参加の方法および注意事項	3
3	Q&A	5
4	水と土の芸術祭 2018 概要	7

1 現場活動の手引き

■ ボランティアの仲間だけでなく、芸術祭の運営に携わる関係者全員がチームメイトです。

役割は違っても、仲間を思いやり、助け合いの気持ちを大切にしましょう。

■ ボランティアと事務局スタッフ、作家同士、情報共有はとても大切です。

わからないことや判断できないことなどがあれば、近隣住民や関係者に迷惑をかけないためにも、ひとりで悩まず事務局スタッフ等に相談してください。

■ 「安全」で「楽しく」活動することを第一に考えましょう。

活動中に気分や体調が悪くなったときは、無理せず休みましょう。

- ① 各会場では、事務局スタッフまたは作家の指示のもと、活動してください。
- ② 休憩をするときは、事務局スタッフまたは作家、他のボランティアスタッフに一言声をかけてから所定の場所で休憩に入ってください。
- ③ 各会場原則禁煙です。また、飲食については、事務局スタッフまたは作家の指示に従ってください。
- ④ 活動中、作家等にサインをお願いするなどの行為は謹んでください。
- ⑤ SNSなどは作家の承諾を得たうえで、作品意図や心情に配慮し、常識の範囲内で投稿してください。

ボランティアの皆さんも「主催者の一人」として関わっていることを意識し、行動しましょう。

■緊急時について

① 傷病人の対応

- ◆ 症状の確認をします。
- ◆ 確認しだい、担当の事務局スタッフなどへ連絡してください。
- ◆ 救急車が必要な場合は、至急119番へ通報してください。また、事務局スタッフへ連絡し、報告をお願いします。

② 活動中に第三者の身体や財物に損害を与えた場合

- ◆ 損害を与えた相手に、誠心誠意お詫びをしてください。
- ◆ 事務局スタッフに連絡をし、その状況を説明してください。

③ 事故等が発生した場合

- ◆ 慌てず、落ち着いて、冷静な判断を心がけてください。
- ◆ 近くにいるボランティアスタッフは事故などの状況を、事務局スタッフなどへ連絡してください。

④ 不審物を発見した場合

- ◆ 不審物を発見した場所を確認します（不審物と思われる物には触れないでください）。
- ◆ ただちに事務局スタッフなどへ連絡してください。
- ◆ 緊急を要する場合は、110番通報をしてください。

⑤ 火災・震災が発生した場合

- ◆ 原則として各会場の施設管理者（不在の場合は事務局スタッフ）が対応します。
- ◆ ボランティアスタッフの皆さんは、ご自身の身の安全の確保に注意し、施設管理者の指示に従ってください。避難誘導等の対応はしないでください。

連絡先

電話番号 025-226-2632

FAX 025-226-0050

メール info@mizu-tsuchi.jp

2 参加の方法および注意事項

■希望参加日の事前連絡（変更等を含む）

参加の申込については、前日までに事務局までお知らせください。
メールまたは、FAX、電話にて受け付けております。

■ボランティア活動の実施有無

天候不順や非常事態が起き、当日の活動が困難と事務局が判断した場合、その日の活動が中止となりますので、決定次第ご連絡いたします。

■欠席／遅刻

参加日に体調不良等のやむを得ない理由により、遅刻や欠席をする場合は必ず事務局までご連絡ください。

■当日の服装（持ちもの）

服装は、ジーンズ・作業着等の動きやすく、汚れても良いものをご着用ください。また靴は汚れても良いもの、長時間の立ち仕事に耐えられるものをご着用ください。各作業に合った服装・備品（軍手、タオル、帽子など）をご用意ください。

■当日の流れ

活動時間：午前9時～午後6時（活動によっては変更になる場合があります）

- ①作品設置場所またはその他集合場所に参集（集合場所は事前に連絡します）
- ②ボランティア参加簿に記名
- ③作業は事務局スタッフまたは作家の指示に従ってください。
- ④やむを得ず作業途中で帰宅する場合には、事務局スタッフまたは作家にお声掛けください。

■メイン会場（万代島多目的広場）での注意事項

- 屋内への出入りは朱鷺メッセ側の自販機横の職員通用口からお願いします。
- トイレは屋外広場側入口からいったん外に出てトイレを利用してください。
- 屋外の広場は一般市民も入場可能です。ケガや事故のないように注意してください。
- 公共交通機関を利用してお越しください。車の場合は芸術祭事務局まで事前にご相談ください。

○施設内での食べ物の販売はありません（飲料あり）。

各自ご持参いただくか、周辺施設での昼食をお願いします。

○飲食できる場所は事務局スタッフまでご確認ください。

■サテライト会場（ゆいぽーと）での注意事項

○施設内は土足厳禁です。動きやすいよう内履きをご用意ください。

○駐車台数に限りがあります。車の場合は事前にご相談ください。

○施設内での食べ物の販売はありません（飲料あり）。

各自ご持参いただくか、周辺施設での昼食をお願いします。

○飲食はラウンジにてお願いします。

■その他会場での注意事項

○施設の利用方法や注意点については、事務局スタッフまたは施設管理者までご確認ください。

○会場によっては駐車場が確保できない場合があります。公共交通機関をご利用いただくか、お車の場合は事前にご相談ください。

■その他諸注意事項

○貴重品…各自保管してください。控室等については事務局スタッフにご確認ください。 ※盗難・紛失がおきた場合、主催者は責任を負いかねます。

○ボランティアとしてご協力いただいている皆さまも、近隣住民等から見るとスタッフの一員です。住民と接するときは、失礼の無いように丁寧な対応を心がけてください。

○緊急事態（救護・火災・天災等）が発生した場合は、事務局スタッフまたは作家の指示のもと、避難してください。

○休憩時間は指定の時間を守りましょう。

○ゴミは、必ずお持ち帰りください。

3 Q & A

【参加について】

Q1：当日急病などで突然参加できなくなったら？

A1：できるだけ速やかに、事務局にご連絡ください。

Q2：活動を増やしたい場合は？

A2：メールなどにより配信されるボランティア活動情報を参考に、希望する活動を事前に事務局までご連絡ください。

Q3：ボランティア活動は指定できますか？

A3：指定可能です。ただし、募集人員に達している場合には、別の活動をご案内する場合があります。

Q4：活動時間の指定はできますか？

A4：指定可能です。ただし、活動によっては指定時間前に終了してしまうことも想定されるため、その場合には事務局よりご連絡いたします。

Q5：休憩時間はありますか？

A5：事務局スタッフまたは作家に確認し、適宜休憩をとってください。

【服装について】

Q6：服装は決まりがありますか？

A6：ボランティアの皆さんも来場者からみると「主催者の一人」です。華美なものや、カジュアルすぎるもの、露出の多い服装はお控えください。

Q7：着替える場所、荷物を保管できる場所がありますか？

A7：着替えられる場所、荷物を保管できる場所をご用意しておりません。また、貴重品はご自身での管理をお願いします。

Q8：熱中症対策として屋外での活動時、帽子や手袋の着用、日傘を使用するなどの対策は可能ですか？

A8：熱中症対策としての日除けは可能です。ただし、華美なものやカジュアルすぎるものなどはお控えください。また、活動時、日傘の使用はご遠慮ください。

Q9：ピアス、時計の着用などは良いですか？

A9：ピアスは外して作業をしてください。時計については外していただくか、キズがついても良いものを着用してください。

【その他】

Q10：食事や水分補給はどうすれば良いですか？

A10：お弁当・水分の支給はありません。休憩時間内に各自で用意していただくか、外で食事をお取りください。

Q11：芸術祭に関する情報を個人的に広く発信したいのですが。

A11：作家の許諾を得たうえで、作品意図や心情に配慮し、常識の範囲内で投稿してください。

Q12：展示作品は撮影しても良いですか？

A12：制作中の展示作品は、作家・事務局スタッフなどにお尋ねください。（会期中は撮影可能）

Q13：展示作品には触れても良いですか？

A13：会期中の展示作品については、当日各会場の作家・事務局スタッフなどにお尋ねください。

4 水と土の芸術祭 2018 概要

■名 称

水と土の芸術祭 2018

■基本理念

私たちはどこから来て、どこへ行くのか

～ 新潟の水と土から、過去と現在(いま)を見つめ、未来を考える ～

■会 期

平成30年7月14日(土) ～ 10月8日(月・祝) 87日間

■会 場 メイン会場・サテライト会場および市内各地

○メ イン 会 場：万代島多目的広場

開館時間：午前10時～午後6時

休 館 日：毎週水曜日(8/15 除く)

○サテライト会場：ゆいぽーと 新潟市芸術創造村・国際青少年センター

芸術祭の休館：8/15 除く水曜日

○その他アート・プロジェクト展示会場(継続展示除く)：

新潟市美術館、NSG 美術館、旧齋藤家別邸、

北方文化博物館新潟分館、砂丘館、安吾風の館、天寿園

栗ノ木排水機場、新潟駅 CoCoLo 西 N+

■主要事業

- (1) 市民プロジェクト(市民自らが企画・運営するイベントやプロジェクト等)
- (2) こどもプロジェクト(次代を担うこども達の創造性を育む事業)
- (3) アートプロジェクト(アーティスト等を招へいし、新潟の地勢的な成り立ちや暮らし文化に深く根差した芸術性の高い作品を制作・展示)
- (4) シンポジウム(芸術祭の取り組みと連動したトークイベント等)
- (5) にいがた JIMAN(「食」や「農」・「伝統芸能」など、新潟市の誇る豊かな文化を広く PR)

■主催

水と土の芸術祭 2018 実行委員会